

愛のおくりもの

企業版 収入税	寄附者 株式会社沖成コンサルタント (代表取締役 上地 克幸) 使い道 西原町まち・ひと・しごと 創生推進事業 寄附金額 100,000円	 
	寄附者 株式会社タップ (代表取締役 小濱 定和) 使い道 西原町まち・ひと・しごと創生推進事業	 
その他	寄附者 金秀グループ (会長 呉屋 守将) 使い道 人材育成 寄附金額 1,000,000円	
	寄附者 西原町電設会 (会長 新垣 淳) 使い道 町長が必要と認める事業 寄附金額 200,000円	
	寄附者 有限会社秀開発工業 (代表取締役 仲間 美智秀) 使い道 平和・教育・文化・スポーツ 振興充実に関する事業 寄附金額 100,000円	
	寄附者 西原町管工事協同組合 (理事長 大城 隆) 使い道 町長が必要と認める事業 寄附金額 100,000円	

西原町へ貴重なご寄附をいただき、誠にありがとうございます。今後の事業に活用させていただきます。

文化財コラム 沖縄戦から80年～西原村民の沖縄戦～

西原は、沖縄戦当時、日米両軍が戦った激戦地でした。では、その頃、住民はどうしていたのでしょうか。沖縄戦から時を少し遡って、昭和19(1944)年8月、西原には日本軍が駐屯するようになりました。その後、東飛行場(在小那覇)や陣地構築等で住民の根こそぎ動員が行われました。また、疎開についても、住み慣れない環境へ行くことの厳しさ、疎開先の食糧不足、駐屯している友軍への信頼感や、貴重な労働力を流出させたくないという軍の有形無形の圧力、対馬丸の撃沈等多くの要因が重なり、県外や北部への疎開は国や県の督励にも関わらず難航していました。

そのような状況で、昭和20(1945)年4月1日米軍の沖縄本島上陸まで、村内には多くの住民が残っていました。4月下旬に日本軍(※①)から非戦闘員(住民)を島尻へ移動するよう要請を受けた当時の西原村長が、村内に残る住民の壕を訪ねて呼びかけ、一緒に島尻へ避難したという記録もあります。また、『西原町史』には、米軍上陸後、各集落の壕や墓で米軍の艦砲射撃や爆撃に耐え、比較的安全な時間を選んで島尻へ避難したという証言が多く残されています。その証言の一つに避難するときの様子が記されているものがあります。『通行には、安全と思われる時刻は、朝未明と夕暮れであった。その時刻になると、まるで蟻が穴から、はい出るように無数のここかしこの壕から数多くの人々が道路に這い出て、灰白い
あかつき 瞬に長い列をつくった。』※②

証言の中には、避難中家族が砲弾に当たり、亡くなってしまったこと、自身も破片で負傷したこと、避難する途中で多くの遺体を見たこと、戦場とはどういうものなのか、その恐ろしさが生々しく綴られています。

西原は激戦地といわれ、当時の住民の約47%が亡くなりました。これは、沖縄県全体の戦没率25%と比べてもかなり高い数字です。そして、『沖縄県史』によると、その戦没者のうち、約68%が南部で亡くなっています。また、生き残った人々も多くが島尻で米軍の捕虜となり、収容所へと送られました。

生き延びた住民がかつての面影を失った西原へ戻ってくるのはそれから1年後の昭和21(1946)年4月以降のことです。『西原町史』には多くの証言が残っています。戦後80年の今、改めて読んでみてはいかがでしょうか。

- ※① 山部隊(第24師団)
- ※② 『西原町史第3巻資料編2西原の戦時記録』P450下段18行～21行引用

参考文献：『西原町史第3巻資料編2西原の戦時記録』/西原町教育委員会
『沖縄県史各論編第6巻沖縄戦』/沖縄県教育委員会



黒煙が上がる伊保之浜集落。
昭和20(1945)年【沖縄県公文書館所蔵】



首里あたりの丘から西原方面を望む。
昭和20(1945)年6月13日【沖縄県公文書館所蔵】

お問い合わせ：文化課 文化財係 TEL:098-944-4998

お知らせでーびる

農業者年金について



自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる積立方式・確定拠出型のため、少子高齢化時代でも安定的な財政方式の年金です。毎年度の積立・運用の状況は農業者年金基金からすべての加入者に個人ごとにお知らせされます。

詳細は農業者年金基金のホームページをご確認ください。

お問い合わせ：西原町農業委員会 TEL:098-945-5281
JAおきなわ西原支店 TEL:098-945-5225



第27回沖縄県新規就農相談会 ～農業を始めたい方、まずはご相談ください！～

農業を担う新たな人材を確保するため、新たに農業開始を希望する方や農業法人等へ就職・研修を希望する方を対象に、必要な情報の提供やアドバイス、農業法人等への就職マッチングを行います。詳細は沖縄県農業振興公社のホームページをご確認ください。

【日時】 令和7年7月27日(日) 正午～午後4時(午後3時30分に受付終了)

【会場】 南風原町立中央公民館 黄金ホール

お問い合わせ：(公財) 沖縄県農業振興公社 TEL:098-882-6801



「道路・河川愛護デー」の実施について

全国河川愛護月間(7月)及び全国道路ふれあい月間(8月)の清掃活動として、西原町においては、明るく住みよい町づくりのために「道路・河川愛護デー」を毎年実施しています。全ての町民及び事業所がそれぞれの地域の環境美化に関心を持ち、「道路、河川愛護の心」を高めることを目的とし、今回、第44回「道路河川愛護デー」を下記の通り実施します。

【作業日時】 令和7年7月4日(金) 午前9時から午前11時

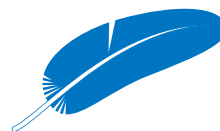
【作業実施場所】 小波津川(2級河川)

【作業者】 西原町商工会会員、(公社)シルバー人材センター会員、事業所、西原町職員

お問い合わせ：土木課 庶務係 TEL:098-945-4415

※今回は、内間小那覇線(産業通り)については産業通り協力会のご厚意により道路が綺麗に保たれていますので作業範囲に含まれていません。

「青い羽根募金について」



毎年、海の日を中心として、7月1日から8月31日までは「青い羽根募金」の強調運動期間となっています。この募金は船舶の遭難や海洋レジャー事故の際の人命救助及びその訓練、機材の購入等に活用されます。町民のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

募金先
 沖縄銀行 高橋支店 普通 1526329
 琉球銀行 壺屋支店 普通 4139
 海邦銀行 泊支店 普通 0-508-276
 ゆうちょ銀行 01780-5-46048

お問い合わせ：
公益社団法人 琉球水難救済会
TEL:098-868-5940

西原町いいあんべ一家での健康サポート「40歳からのダイエット・体力づくり体験会」

体験会では、「体組成計測定」、「カウンセリング」、「ストレッチ」、「自重トレーニング」と、ダイエットや体力・筋力向上に繋がるメニューを実施します。

【日時】 7月22日(火) 午後7時～午後8時

【講師】 石川 大悟(健康運指導士)

【場所】 西原町いいあんべ一家(中央公民館となり)

【参加費】 500円

【対象】 西原町在住・在勤40歳以上
※運動制限の無い方 10名(※先着順)

【申込み】 いいあんべ一家にお電話にてお申込みください。

お問い合わせ：いいあんべ一家 TEL:098-946-1734(※受付時間：月～土 午前9時～午後5時)

「令和7年度県営住宅入居募集のしおりの配布について」

西原町役場で県営住宅の入居募集のしおりを配布しています。入居を検討されている方は指定の配布場所で受け取ってください。

【配布(募集)期間】 7月7日(月)～7月18日(金)
※上記期間は入居申込受付期間でもある為、ご注意ください。

【配布場所】 総合案内窓口、建設部都市整備課(2階)

※配布部数に限りがありますので、ご了承ください。

お問い合わせ：沖縄県住宅供給公社
TEL:098-917-2206

シェアサイクルの新たなステーションが設置されました！

西原町では、新たな交通手段のひとつとして「シェアサイクル」の取り組みを推進しています！この度、新しいステーションが仲間入りしましたので、ぜひご活用ください！



【新規ステーション】

池田ハイツ公園(自治会集会所) 令和7年6月19日開設
シェアサイクルの取り組みや町内外のステーションの位置については、こちらをご確認ください。

お問い合わせ：企画財政課
チャレンジプロジェクトチーム TEL:098-945-4533

